



いばらきダイバーシティ宣言

急速な人口減少社会の進展や少子高齢化、経済・社会のグローバル化の進行など、社会情勢は大きく変化しております。

このような中、活力があり、持続可能な地域社会をつくるためには、多様な人材の活用により、ニーズの変化や急激な環境の変化などのリスクへの対応力を高めることが重要であると考えます。

その実現のためには、年齢や性別、国籍、障がいの有無、性的指向・性自認等にかかわらず、一人ひとりが尊重され、誰もが個々の能力を発揮できる社会、多様性が受容されるダイバーシティ社会の実現が求められています。

私たちは、ダイバーシティ社会の実現に向けて次のことに取り組むことをここに宣言します。

社会福祉法人朝日会愛の里は、入所・通所されている知的障害をお持ちの利用者様の活躍できる場所の提供を目標として活動をおこなっています。

また、地域に根差した社会福祉法人として、地域の皆様が作る野菜、工芸品の販売場所を作ったり、地域ぐるみで盛り上がるようなイベントを実施したり、地域の活性化事業も積極的に行っています。

法人のスローガンである「みんなが笑顔になれる場所を目指して」の実現のため、利用者様・職員・地域の皆様と一緒に、ダイバーシティ社会の実現を目指します。

令和3年7月20日

社会福祉法人朝日会 愛の里

理事長 森 重正